

	<p>区民が農を楽しみ、豊かな農の風景を未来につなぐ施設 高松みらいのはたけ がオープン！</p>
と き	3月20日(月)
と ころ	高松みらいのはたけ（高松二丁目23番17号）
<p>区は、区内の高松農の風景育成地区に、区立の畑「高松みらいのはたけ」を20日に開園した。この施設名称は、地元小学校の児童から案を募集し、約1,600のアイデアの中から選定した。</p> <p>開園前日の19日に行われたオープニングイベントでは、専用のラッピングトラクターのお披露目や、地元小学校の児童によるじゃがいもの種イモ植付けを実施。他にも、障害者事業所による野菜を描いた段ボールによる「巨大ジェンガ」ブースや、地元NPOブース、トラクター試乗コーナーなど大勢の来園者で賑わった。</p> <p>名称を考えた6年生の湊 悠輔（みなと ゆうすけ）さんは、「シンプルで親しみやすく、この畑が未来へ残るように願いを込めた」と思いを語った。</p> <p>区では、11月に「全国都市農業フェスティバル」を開催するなど、今後も都市生活と農が融合した都市農業の魅力をさらに発信していく。</p>	



▲開園式の様子

【「高松みらいのはたけ」について】

概要：農地や屋敷林など昔ながらの農の風景が残る高松一・二・三丁目『農の風景育成地区』（東京都指定）のほぼ中央部にある区立の畑。農作物の栽培はJA東京あおばが行い、区民は種まきや収穫など、農作業のポイントとなる作業を楽しみながら体験できる。管理棟にあるキッチン付の多目的室では、採れたての野菜を調理し味わうイベントを行う予定。

住所：練馬区高松1-23-17
敷地面積：4,138㎡（うち畑部分：2,201㎡）

【オープニングイベントの様子】



▲種イモ植付けの様子



▲トラクター試乗コーナーの様子



▲巨大野菜ジェンガブースの様子



▲野菜ストラックアウトブースの様子